

『野外劇 ロミオとジュリエット イン プレイハウス』観劇レポート

横尾未来 (日本大学芸術学部 2年)

〈演出について〉

まず興味を引くのは、役者の性別に左右されないキャスティングである。男性が女性を演じること、女性が男性を演じること、性別に意味はないということを表しているのではないかと考えた。また、役者たちが自身と反対の性別(生物学上)の人物を演じる際、大げさに女っぽく、男っぽく見せている訳ではないというように感じられた。初めは「男性が女性を演じている」「女性が男性を演じている」ということに意識が向いてしまっていたが、観ているうちにだんだんと違和感がなくなってきて、不思議な感覚に陥った。

衣装について、モンタギュー家が青、キャピュレット家がオレンジ色の衣装を身に着けていたが、この二つの家族の対立を反対色である青とオレンジで表しているように見える。一般的に、お手洗いのピクトグラムや温泉や銭湯の「男湯」「女湯」の暖簾などに見られるような、男は青、女は赤というぼんやりとした認識が存在する。しかし今回の舞台では青対赤ではなかった。これは「男対女」ではないということを表したかったのではないかと考えた。

開演前、劇場に入ると役者たちが舞台上でウォーミングアップをしていた。あえて役者の素の姿を見せたのには、舞台と現実とに一線を引くという意図があったのではないかと考えた。近頃よく目にする客席の照明すら落ちることなく始まる舞台では、観客をその作品の世界に引き込み、その世界の住人として物事を考えさせるという狙いがあるように感じる。反対に、今回のように役者の素の姿が見え、始まりを宣言してから開幕する舞台は、物語の世界はあくまで物語であり、観客は観客として、現実の世界から物語を観察してほしいという思いがあったのではないかと考えられる。

近未来の池袋が舞台とされ、舞台セットもそれを表すような無機質な鉄パイプの足場であったが、言葉使いのためかそのように見えなかった。このちぐはぐな感覚のおもしろさと、意図の見えない多少の不安感があった。

また、ただ男女が逆転しているだけ、近未来の池袋が舞台であるという設定がされているだけという風にとることもでき、少々観客に委ねすぎているという印象も受けた。いろいろな見方ができるということは良さでもあるが、どこを見せたいかという演出の意図が曖昧で、困惑する場面があった。

〈作品について〉

「分断」というテーマが一貫して存在するのように感じた。二つの家族は、なぜ憎しみ合っているのか語られないまま憎しみ続けている。そこには憎しみ合うことや分断されていることがいかに無意味で解消すべきことであるかという思いが込められてい

るように見える。全体的に飄々とした語り口で、時にユーモラスにも感じられる作品だが、人が死ぬということに関しては非常にシリアスに描かれていると感じた。二人が愛を語るシーンは最初すごく滑稽に見えるが、パリスとの結婚を拒むジュリエットを怒鳴りつけるキャピュレットのシーンでは、人を好きなだけでこんなにも悲劇が起きる、怒られるということにやるせなさを感じた。個人的に、一人の娘として、親からあそこまで言われたら立ち直れないと思った。その上にとどめを刺すかのような乳母の言葉に、スッと冷静になるジュリエットの気持ちがわかる気がした。誰よりも味方で居てくれた人に突然裏切られ、逆に目が覚め、強くなれたのだと思う。

ロミオが追放されることになり、外に出たら終わりと考えている場面が印象に残っている。自分が今いる世界がすべてと感じるのは若者らしくもあり、また分断された世界、今いる場所と違う世界への恐怖を感じているということが読み取れる場面であった。

また、今を生きる私たちにとってのタイムリーな出来事として、やはり「感染症」による悲劇に目が行った。使者が感染を疑われたことによりロミオに手紙が届かず、その後の大きな悲劇へとつながってしまった。私たちも感染症により「分断」されていると感じるが、作者が生きた時代も同じように感じていたのかもしれないと思うと興味深い。今までであればここに目に行くことはなかったであろうが、改めて、感染症というものは身体にだけでなく、精神にも影響を及ぼすものであると考えさせられた。

#### **講評 多和田真太良（玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授）**

他のレポートが性別に関する演出について好悪で終始していたのに対し、意図と効果に踏み込んで分析し、考察しています。特筆すべきは、開演前の演出について、客席と舞台の地続きを強調する意図を汲んだ上で、「観客に委ねすぎている」という評価を下したのは秀逸でした。作品分析では「分断」をキーワードに戯曲中の感染症への言及にも触れ、人物の心情を身近なものとして理解しようとする積極的に作品に関与しようとする姿勢が見られました。